

彦とはすぐれたおとこの意。てんひこは豊かな未来を創造する者たちの集団である。



てんひこ

発行所 **株式会社天彦産業** 大阪市住之江区南港南5丁目1番72号 Ⅱ (06) 613-2361(代)
編集発行責任者 T.H.グループ (園田昌彦 大津卓見 松嶋美亀生 峠谷友紀子)



(新社屋全景)

新社屋完成!!

二十一世紀に向けて

新たな「天彦」のスタート

代表取締役社長

樋口克彦

天彦産業新社屋竣工披露パーティーにかくも多数の方々に、御来駕賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

遠くは、新潟・東京・高知等、また海外からは、韓国・台湾・香港・タイ・シンガポールと万障お繰り合せ御参集頂きましたこと、この上もない光栄と感激しておる次第でございます。

顧みますれば、明治維新の大業成って日本が近代国家への道を歩み始めた明治八年一月八日、第一世樋口彦三郎が滋賀県甲賀の里水口町に前換鋸「天彦」の看板をあげ、その後、時代の波と共に鋸が斜陽産業化していくや製造を打ち切り、鋼材の販売先も鋸、刃物分野だけでなく、自動車・建築・農機具・電機部品等へと販路を広げ、日本の国際

化とともに海外取引も始めていったのでございます。昭和四十七年に大阪市西区南堀江より東大阪に移転致しましてから十五年がたち、この南港の地に再度拠点を移すことになったわけでございますが、途中、宮田鋼商店との合併により取扱品目が特殊鋼帯鋼・鋼板・磨帯鋼に厚板・条鋼が加わり総合的な特殊鋼問屋となり、営業規模で約八倍、うち貿易部門がNICS諸国を中心に海外十三カ国へと拡がり、我社販売量の三分の一を占める迄になり、人員体制では三・五倍となり適当な場所を物色致しておりましたところ、三井物産株式会社のお世話により、東大阪の敷地の約八倍の場所に進出することができました。今回、大阪南港鉄鋼流通協同組合の一員として、この様に我々の期待以上に立派な建物に入らせて頂くことになりましたのも、三井物産株式会社・当組合の西野理事長始め組合員の皆様、

この建設に直接たずさわって頂きました日建設計株式会社株式会社態谷組等の方々の大きなお力添えのおかげと厚く御礼申し上げる次第でございます。

企業とは環境適応業であるといわれますが、我社も先人達がその時代時代の流れる中で業種の転換または営業方法の変化等での百十二年を乗り越えて来たものと思われま

す。しかし、この変化の激しい現在におきましては、変化に即応するだけではまだ十分ではなく「変化を如何に先取りし、自らを革新させつつ来るべき時代に備える」ことが大事ではないかと思っております。創業以来百十二年を経て来たとはいえ、鋼材販売業としては昭和二十五年の開始であり、まして企業としての形をなしたのは東大阪に自社所有の本拠を持った昭和四十七年からです。

我々は、現在の鋼材販売業

(次ページへ)

としてはまだまだ青年期に入
ったばかりの若々しい企業で
あると認識致しております。
それだけに皆様には何かとご
迷惑をおかけし充分にご満足
頂けるお取引ではなかったの
ではないかと反省しております
が、これからは、この新し
い設備を生かし皆様のご助言
ご指導を受け一步、一步成長
して行きたいと思っております
ので、宜しくご支援の程お
願い申し上げます。企業とは
社会に存在する意義や価値が
なくなれば自然消滅していく
わけでございまして、我社の
社会的存在価値は何ぞやと
考えました場合、メーカーの
お造りになった物をお使いに
なるユーザーへ供給する橋渡
しをする、即ち流通の役目を
担っている我社と致しまして
は、本日皆様にご覧頂きまし
たヤードの充実により、物理
的サービス体制を整えること
も重要なことには違いないわ
けでございますが、それ以上
に大事なことは、その中にい

る人間が如何なる考え方を持
ち、どのような能力を身につけ
、皆様方との情報交換等を通し
てお役に立つことが出来るか
—ではないかと思っております。

企業活動は、本来教育事業で
はないかと思っております。
今日我々はよく働くだけでは
不十分で、良き知恵を出さな
ければなりません。常に一ラ
ンク上の仕事が出来様に能
力アップを計り、人間として
の幅を広げることにより人格
をたかめ、その総合力をもつ



(披露パーティー社長挨拶)

て社会にお役に立てる様努力
することが、我々に課せられ
た使命ではないかと考えてお
ります。

既にご案内の通り、我社に
は社員代表の参加する幹部会
ヒラメキ・ハツラツ・ピカピ
カ・T・Hの委員会等により、
自分達で考えたことを企業経
営の中に反映させる全員参加
の経営を試みております。

昭和五十五年よりのGO・
GO・五運動、五十七年度か
ら五十九年度迄のT・H活動
六十年代から現在に至るNO
1天彦運動とI・I・O活動、
これらの運動を通じて我社
の経営理念、我社の社会に
於ける存在の在り方への思
想作りを行なって参りました。

とりわけ本年は新社屋、
倉庫、機械設備とハードの
充実する年でもあり、明る
く希望のもてる未来への基
盤作りの意味からも、もう
一度ソフトの原点を見つめ
同一思想、同一価値観の再

確認を行なっております。

それには先ず第一に本物の
利益、仕事の本質を理解しよ
うと

☆利益は結果であり目的で
はない。

☆利益は社会への貢献度に
応じてもたらされる。

☆明日の利益につながる
今日の利益は求めるべきで
ない。

☆この仕事は何の為にやる
のか理解しなければならぬ。

☆仕事は完全主義でやらな
ければならない。

☆経済性追求の前に企業文
化作りがあるべきである。

☆特に企業・個人のモラル
は最重要視するべきである。

これらをすべての企業活動
の判断の基盤におき進めて参
りたいと思っております。と

はいえ、理想と現実のギャッ
プはまだ大きく、我々全
員日夜苦闘を続けております
が、皆様方の温かいご理解と
ご支援を受け、今迄以上に皆
様方のお役に立てるよう努め

て参る所存でございます。

竣工披露パーティーにご出
席頂きました皆様方には、こ
れまで我社にお与え下さいま
したご指導、ご支援の万分の
一にもお応えする満足なおも
てなしも出来ず、誠に心苦し
く思っております。

今後とも、今まで以上に、ご
指導、ご支援賜ります様、
よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、従業
員のご家族の皆様には、ご主
人が、あるいはお子様が、我
社の企業活動に万全の体調で
参加できるよう日頃から格別
のご配慮を頂き、厚く御礼申
し上げます。さらに今後とも
我社の企業経営の在り方を
ご理解頂き、社員的人格作り、
人間的成長への尚一層のご協
力をお願い申し上げる次第で
す。



“新築移転に際して”

取締役会長 樋口彦三郎



兼ねてより待望いたしておりました南港の新社屋、倉庫が完成し移転することになり、

㈱天彦産業の第三創業がスタートする運びとなりました。

将来の飛躍に向けて邁進せねばならない時となりました。

我国経済は内需拡大が叫ばれ

景気は上向きと報道されておりますが、金利の引き上げなど叫ばれ周囲の状況は依然として厳しさが続いております。新社屋に移ったこの際、

社員一人一人が気分を一新し、諺にある「責任感に目覚めただけ自分の能力が伸びて行く」又、一つには「苦しみを乗り

越えた体験は自分の力として

活きてくる。」と言うことを個

々がよく体得し、自信と自覚

を持ち鋼材問屋としての基盤

の確立と社業の進展に努め、

天彦社員としての誇りある企

業にするべく格別の努力をさ

れんことお願いいたします。

最高の環境で

発想の転換を

取締役営業部長 樋口友夫



新社屋完成は同時に、新生「天彦産業」の幕明けです。

十三社が建ち並ぶ新社屋街はまるで鉄のイメージでなく、

このまま御堂筋に並べても違和感が無いのではとさえ見えます。広々とした倉庫、大小

様々な会議室、明るく広い事

務所等、考える集団を目指す

我々にとって申し分の無い条

件が揃いました。生かすも殺

すも我々次第ではないかと思

います。これら内外の施設は

発想の転換を促すのには、最

高の環境です。

従来の鉄のイメージでは本当

の意味でユーザーニーズに応

える限界がある様に思えてな

らないのです。というのも、

どのメーカー、どの流通から

買っても、価格・品質の差が

なくなっており、お客様は価

値感のある特異性を求めている

からです。その意味で我々

は、どうしても発想の転換が

必要となっています。

未来利益の追求、本物の利

益の獲得をする上にも、この

最高の施設で是非、新たな発

想を生み出し、目標に向って

大きく前進する決意です。



下請からの脱皮

取締役管理部長 宮田莊一



大阪南港は今世紀末大阪の

最高プロジェクトとして進行

中の関西国際空港と都心の中

間にあり情報基地の構想も持

った地域である。人・物・情

報の流れが、新空港・南港・

北港・都心更に湾岸道路、各

種海峡大橋や高速道路網によ

って、阪神間から四国、九州

へと広がり、関西経済圏にお

ける諸外国との玄関口に通じ

る非常に重要な地点となつて

来た。その地にすばらしい鉄

鋼流通基地が完成し、その中

に我社の拠点をもち得たこと

は、大きな喜びであると同時に

に、今からこれを最大限に活

用し企業を發展させ、組合を

發展させ、地域の發展に寄与

しなければならぬという重

大な責任を負ったことであり、

身の引き締まる思いがせざる

を得ない。

一般に管理とは点検・検査・

規制といった事後に対する管

視の意に取られやすい。しか

し、最も重要なことは企業を

いかに成長させ永遠のもの

としていくためのソフト造りと

運用の協力でなければいけな

いと思う。有能な人材を集め

正しいデータを造り、自由

な発想のもとに営業や現業、

率いては会社全体へ成長のた

めのノウハウを売っていくと

いう、つまり頼まれ仕事から

脱することが必要ではないか

と思う次第である。



一ドルが二三〇円代を迎え 貿易部の将来はどうなる

取締役貿易部長

宮田康之助



今年三月、六二年度の期首計画を立てるに当り、一ドル一五五円に設定し計画目標を立てたが、五月には一三七円になり、計画が全く狂ってしまった。下期は一ドル一四〇円に設定し、修正計画を出したが、売上面では期首計画より増えているが、粗利減少の計画である。この修正は政府の内需拡大と、去年よりの鉄鋼メーカーの減産と合理化により国内市況が好調となつて来た為に、メーカーは国内に目を向け単価の安い輸出を敬遠しだした等によるが、幸い

にして我々の主取引先であるアジア新興工業国は相変わらず好景気である。しかし、その中で台湾だけは、元高の為、日本と同じ道を歩もうとしている。この円高・元高の影響を受け多くの企業は(一)高付加価値化、ハイテク化 (二)事業転換 (三)海外からの部品調達や海外生産などのグローバルゼーションに挑戦している。貿易部もこれに挑戦し、特に台湾よりもタイに目を向けています。南港進出によって高付加価値化、ハイテク化の輸出に挑戦し、鉄鋼に限らず新規事業に取組み、タイ等より輸入拡大を計り、一ドルが一二〇円いや一〇〇円になろうとも、ピンチを克服し乗り越えていく覚悟であります。



新倉庫の活用

工場長 岩崎哲夫



記念すべき日昭和六十二年十一月二十一日、待望の新社屋・倉庫が誕生した。我が子の名前を付ける楽しさの様に第一倉庫、第二倉庫、機械ヤード、在庫商品ヤード、荷受ヤード、入出庫ゲート三ヶ所等の命名して行く楽しさと胸躍るファイトが盛り上って来るのが感じられる。加工設備としてシャーリング一機、鋸盤三機、丸鋸一機、縦鋸盤一機、の新規発注済にて従来の加工能力を数段上回る能力を有し、全機種設置稼働後は、より以上の品質、納期等ユーザーの期待に充分適応出来るものと思つて居ります。従

来の倉庫分散利用から一躍、一ヶ所集中流通基地の拠点として、幅広くユーザーの需要に応えるべく、良い商品をより早く正確に御届け出来る体制作りを始めて居ります。荷受荷出に際しても、十五トントレーン二基を主に六基のクレーンが「待ちたくない」「待たせられない」の合言葉で各御得意様への有効時間稼働にも寄与し得るものと確信して努力して行かねばならないと思ひ日夜努力して居ります。



新社屋・倉庫の設備概要

敷地面積	5,935 m ²	
倉庫面積	3,422 m ²	2棟(収容能力1万トン)
事務所面積	600 m ²	3階建
◇事務所OA設備		
コンピューター	東芝Q-500 90.MV	1台
	多目的プリンター	1台
	端末ディスプレイ	5台
	プリンター	3台
	三菱M-80/100 30.MV	1台
	多機能プリンター	1台
	端末ディスプレイ	1台
	プリンター	1台

パソコン	リコー SP.250	1台
	プリンター	1台
パソコンテックス	日本ワードデータ Comet-1050	1台
	電動タイプライター	1台
ファクシミリ	ナショナル GIV 高速B4	1台
	ムラタ GII GIII A4	1台
◇倉庫機械設備		
クレーン	IHI 2.8 トン	2基
	IHI 5.0 トン	2基
	IHI 15.0 トン	2基
シャーリング	アマダ 13%×2,500	1台

シャーリング	アマダ	集積装置	1台
		6.5%×2,000	1台
		集積装置	1台
		6.5%×2,000	1台
		供給装置	1台
		集積装置	1台
鋸盤		タテ型手動帯鋸盤	1台
		(2,000×6,100)	1台
		1,000手動帯鋸盤	1台
		400自動帯鋸盤	1台
		250自動帯鋸盤	1台
		100丸鋸盤	1台

存在観のある課

営業一課 森田祥一

今年の課のスローガンを存

在観のある課に決めた。理由として常に人の脳裏に浮ぶ人間になるという事で実際毎月何かを課全員でやるという事の出発でした。現在色々行なった中で最も印象に残った事は七月に全員で早朝ジョギングを毎日やった事です。我課員は八十キロを超えるメンバー四名とアシスタント？キロの女子一名の計五名です。走る事の得意な体格の我々は毎日助け合い一ヶ月間休むことなく全員完走しました。全員の心の一つの共通点が生れ、その事によってチームワークというすばらしい結晶が育ちそれ以後各々が心を割って話し合える課になったと感じています。今後も課員一同天彦イズムの中、着実に決めた事を全員で実行することにより更にチーム力アップの源造りをしていきたいと思ひます。

同一思想・同一価値観で行動する課

営業二課 山川隆男

今年度の活動目標として一ヶ月に一項目のグループNo1を設定し、課員全体のレベルアップを目的に色々なNo1にチャレンジしております。特に八月の「早朝掃除No1」に関しては、女子アシスタントも含めて課内全員が早朝七時から会社周辺やジョギングコース、駐車場等の紙くず、吸いながら空きカンを拾い集め、雑草むしりをやりました。毎日続ける事の難しさ大切さを身をもって学んだわけです。一つの目的に向って全員が力を合わせ、同じ方向に進むという我社の経営理念の同一思想、同一価値観を全員が持つ事をNo1を通して日々努力しております。十一月は提案No1です。毎日課員五名がそれぞれ一項目以上の提案を出し、仕事の完全主義を目指して改善していく方針です。

新拠地での

新たな決意

貿易部 新庄達吉

今世界の海へと繋がる南港の地へ移り来て、貿易部としては益々頑張らなければと決意を新たにす次第です。その具体的方向付けとして先ず現在のスタッフの個々の能力アップを図り、業務システムを今以上に効率化し、仕事の完全主義を徹底させる。また営業面に於ては東南アジアだけでなく、広くアメリカ、ヨーロッパ等へ販路を求め、将来一層の円高を見越して輸入にも力を入れ、鉄鋼以外にも貿易部の柱となる商品を開発していかなければならない。折しも現在の日本を取り巻く世界情勢は、我が貿易部にとつては誠に厳しいものがあるが、その中であつてこそ我々の努力と叡知を結果して天彦産業に於ける貿易部を益々発展させて行かなければならない。

新社屋・新倉庫に

かける夢

企画管理部 池口敏正

待望の新社屋が完成した。

我々社員が、新社屋をいかに有効に、社会に貢献する企業として生かしていくべきかを考えると、我々の使命は非常に重大であると痛感する。我々の目標は常に本物の利益を追求することにある。商品売ることに、これは結果である。我々の心を売り、人間性を買っていただき、お客様に対する真心を買っていただくことが目的である。これからの企業はこれなければ生きていけない。我々に与えてくれた新設備をいかにお客様に還元でき、本物のニーズにこたえられるよう社員の一人一人が自覚し、その上に立つた本物の利益を永遠に追求することが我々の使命だと考えている。「天彦」の未来は、我々の心で育てていかなければならないと思つてゐる。

気合一発

朝の出陣式から

現業部 杉原信良

現業部は、毎朝の出陣式を

初めいろいろのアクションをおこしています。

「お願いします。よし来い

やれば出来る。出来るまで絶

対にやりぬくぞ」と毎朝九

時数分前に南港鉄鋼流通基地

に響かせております。現業部

全員が一眼となり、同一思想

の基にアクションを起す目的

で朝のスタート、今日一日精

一杯やり抜こう。やるんだぞ

〃というその意気込み。その

姿はとてつもない迫力で気

分は壮快です。やれば必ず出

来るんや。出来るまで絶対に

やらなければならぬ。東大

阪の時に比べて数倍も広い倉

庫、そして機械設備の備った

南港に移ったんだから。それ

が一言いいたくて……。

「新天地での社員の一言」

営業部第二課

村上威津夫

ここ南港に移り、天彦社員個々が、何を感じ・何を考えたかを、一人一言という形で伝えさせていただきます。

「すばらしい」の一言でこのハードな面にマッチしたソフットの部分の創造が大きな課題ではなからうか。

梅北広明

南港へ進出という事で、私も新しい気持ちで仕事に取り組み、出発していきたいと思っています。

高岡美佐

入社して八ヶ月、仕事面、精神面共にまだまだ未熟な私ですが、新社屋と共に成長していければと思います。

上田 学

前山正美
新たな気持ちで再スタートガンバルゾツと。

営業部第一課

上田 勉

心機一転新たな気持ちで仕事に取組むのには一番の環境だと思うので、営業成績も上昇することうけあい。

武田恒夫

何もかもが新しい。私自身も新しく何事にもチャレンジの精神で望みたいと思う。すばらしい新社屋に感激

大津卓見

新社屋の誕生に伴ない、自分自身もリフレッシュ。ワイドな気持ちで、仕事に取り組んで行きます。

異 裕子

全てが新しくなり、私自身も心機一転今までより一層業務に励み、より完全な仕事を遂行して頑張ります。

入本隆一

新しい気持ちで人にたよらない。なにがなんでもやりぬくぞ

西原一義

松嶋美亀生
社屋・倉庫・設備品も全てが新しく、新たな「天彦」のスタートである。将来の当社像を考えると楽しみです。

住永亜由美

事務所がとっても明るくて嬉しくなりました。そして、なんてったって一日中海が見えるのって最高だと思います。

峠谷友紀子

新しい事務所・新しい机、窓から見える海にかかったかもめ大橋の景色は最高です。初心にもどって頑張ります。

新倉庫と調和のとれた明るい職場に企業文化を創って行こう。

北尾修一

新社屋に移転し、今迄の既成概念を排し、新たな発想で業務に取り組んで行きたいと思っています。

貿易部

野村昌代

「広いな！大きいな！」と言うのが第一印象で、自分まで出世した様で、うれしくなりました。

大橋 浩

すばらしい環境に、すばらしい設備、こんなにいい条件なのだから……。

竹山弘美

広く、美しく、そして明るくなった新しい事務所でも気持ちのリフレッシュさせて頑張ります。

西谷 浩

南港一期生として、気をひきしめて頑張るぞと。

企画管理部

佐藤浩一

現業部

武田真次

考える現業、行動する現業、そして強い現業部作りを実現していくぞ

谷 芳典

新社屋に移って、前社屋でやり残した課題をなくして行こう。

大見光孝

四倍も大きくなった新倉庫で自分自身を十倍にも大きく成長したいと思っています。

STEP SHOES

浜野健一

気持ちも新たにスタート。全力で何事にも取り組む。とにかく頑張る

＊編集後記＊

待ちに待った新社屋が完成し、竣工披露パーティーを終えた今、社員みんなの生き込み、決意を記事にしました。私達T・Hグループも皆様に発行を待ち遠しく思っています。来期まで精一杯の活動を行ないたいと思います。